

### 第3問類題

#### 【特殊仕訳帳】（12点）

次の取引を特殊仕訳帳としての売上帳に記入して、月末に締め切りなさい。また、示された勘定口座に転記（日付けと金額のみでよい）しなさい。なお、当店ではこのほかに、現金出納帳、当座預金出納帳および仕入帳を特殊仕訳帳として用いている。（12点）

5月16日 CMC商店に商品¥300,000 を売り渡し、代金のうち¥80,000 は同点振り出しの小切手で受け取り直ちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。

20日 CMC商店に売り渡した上記商品の一部が汚れていたため、¥30,000 の値引きを行い、値引額は売掛金から差し引くことにした。

28日 弥生商店に対する前期分の売掛金のうち¥50,000 を現金で回収した。

平成28年		売 上 帳					3
平	成	勘定科目	摘 要	元丁	売 掛 金	諸 口	
			前ページから		200,000	90,000	

#### 総 勘 定 元 帳

##### 売 掛 金 4

5/1 前月繰越 500,000      5/31                      365,000

##### 売 上 20

#### 得意先（売掛金）元帳

##### C M C 商店 1

5/1 前月繰越 40,000

##### 弥 生 商 店 2

5/1 前月繰越 100,000

<特殊仕訳帳：解答>

売 上 帳 3

平 28	成 年	勘定科目	摘 要	元丁	売 掛 金	諸 口
			前ページから	✓	200,000	90,000
5	16	当座預金	C M C 商店	✓		80,000
	"	売掛金	C M C 商店	得1	220,000	
	20	売掛金	C M C 商店	得1	30,000	
					420,000	170,000
	31		掛売上高	4		420,000
	"		総売上高	20		590,000
	"		売上返品・値引高	20 4		30,000
			純売上高			560,000

総勘定元帳

売 掛 金		4	
5/1	前月繰越 500,000	5/31	365,000
	31 420,000	"	30,000

得意先(売掛金)元帳

C M C 商店		1	
5/1	前月繰越 40,000	5/20	30,000
	16 220,000		

売 上 20

5/31	30,000	5/31	590,000
------	--------	------	---------

弥生商店 2

5/1	前月繰越 100,000	5/28	50,000
-----	--------------	------	--------

総勘定元帳は6点欲しい  
 売上帳の総売上高も取れる  
 8点は欲しい



**【伝票会計】（12点）**

次の取引を略式伝票（5伝票制）に記入して、仕訳集計表を作成しなさい（元丁欄の記入は不要）。なお、仕入と売上は、いったん全額を掛け取引とみなして起票する方法によっている。

- 5月5日 CMC商店に商品¥400,000 を売り渡し、代金のうち¥300,000 は同店振り出しの約束手形で受け取り、残額は掛けとした。
- 〃 弥生商店から商品¥305,000 を仕入れ、代金のうち¥100,000 は保有する受取手形を裏書譲渡し、引取運賃分¥5,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。
  - 〃 奉行商店に対する売掛金¥100,000 を現金で回収した。
  - 〃 先日、VAL商店へ掛けで販売した商品のうち、¥8,000 分の商品が品違いであったので返品されてきたため、代金は売掛金から差し引くことにした。

※売掛金と買掛金には商店名も記入する。（記入例：売掛金／〇〇商店）

<u>売 上 伝 票</u>	
商 店 名	金 額
福 岡 商 店	(            )

<u>売 上 伝 票</u>	
商 店 名	金 額
(            )	(            )

<u>仕入伝票</u>	
商 店 名	金 額
(            )	(            )

<u>入金伝票</u>	
科 目	金 額
(            )	(            )

<u>出金伝票</u>	
科 目	金 額
(            )	(            )

<u>振替伝票(借方)</u>	
科 目	金 額
(            )	(            )

<u>振替伝票(貸方)</u>	
科 目	金 額
(            )	(            )

<u>振替伝票(借方)</u>	
科 目	金 額
(            )	(            )

<u>振替伝票(貸方)</u>	
科 目	金 額
(            )	(            )

仕 訳 集 計 表

平成 30 年 2 月 5 日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
		現 金		
		( )		
		売 掛 金		
		買 掛 金		
		売 上		
		仕 入		

<伝票会計:解答>

※売掛金と買掛金には商店名も記入する。(記入例：売掛金/〇〇商店)

売 上 伝 票	
商 店 名	金 額
CMC商店	( 400,000 )

売 上 伝 票	
商 店 名	金 額
( VAL商店 )	( 8,000 )

仕 入 伝 票	
商 店 名	金 額
( 弥生商店 )	( 305,000 )

入 金 伝 票	
科 目	金 額
( 売掛金/奉行商店 )	( 100,000 )

出 金 伝 票	
科 目	金 額
( 買掛金/弥生商店 )	( 5,000 )

振替伝票(借方)	
科 目	金 額
( 受取手形 )	( 300,000 )

振替伝票(貸方)	
科 目	金 額
( 売掛金/CMC商店 )	( 300,000 )

振替伝票(借方)	
科 目	金 額
( 買掛金/弥生商店 )	( 100,000 )

振替伝票(貸方)	
科 目	金 額
( 受取手形 )	( 100,000 )

仕 訳 集 計 表

平成 30 年 2 月 5 日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
100,000		現 金		5,000
300,000		(受 取 手 形)		100,000
400,000		売 掛 金		408,000
105,000		買 掛 金		305,000
8,000		売 上		400,000
305,000		仕 入		
1,218,000				1,218,000

<伝票会計：解説>

5 伝票→売上取引は売上傳票、仕入取引は仕入伝票、現金取引は入出金伝票、他は振替伝票  
仕入取引と売上取引を、すべて掛け取引と仮定して記入する。

<売上取引の仕訳>

①全額掛取引

売掛金 400,000 / 売上 400,000 → 売上傳票

②受取手形で回収

受取手形 300,000 / 売掛金 300,000 → 振替伝票

<仕入取引の仕訳>

①全額掛取引

仕入 305,000 / 買掛金 305,000 → 仕入伝票

②裏書譲渡

買掛金 100,000 / 受取手形 100,000 → 振替伝票

③引取運賃（引取運賃分¥5,000 とあるので 305,000 円のうち 5,000 円という意味）

買掛金 5,000 / 現金 5,000 → 出金伝票

<他の仕訳>

返品 売上 8,000 / 売掛金 8,000

回収 現金 100,000 / 売掛金 100,000

仕訳日計表は解答の伝票から下記のように集計

これは満点取りましょう

**【財務分析】（14点）**

次の、決算日における資料に基づいて、ROA（総資産経常利益率）、ROE（自己資本当期純利益率）、総資産負債比率、流動比率、当座比率及び自己資本比率を求めなさい。なお、期中平均が望ましい場合であってもすべて期末の数値を用いること。また、繰延資産など下記の条件以外はないものとする。解答上の端数は、%の小数第2位以下を四捨五入して小数第1位まで示すこと。（12点）

貸借対照表

流動資産 500,000	流動負債 300,000
固定資産 1,500,000	固定負債 1,100,000
	純資産 600,000

損益計算書

売上高	1,000,000
売上原価	600,000
販売管理費	200,000
営業外損益	10,000
特別損益	△5,000
法人税等	8,000
当期純利益	197,000

※流動資産のうち140,000円は棚卸資産である

ROA（総資産経常利益率）	経常利益／総資産
ROE（自己資本当期純利益率）	当期純利益／純資産
総資産負債比率	負債／総資産
純資産負債比率	負債／純資産
流動比率	流動資産／流動負債
当座比率	当座資産／流動負債
自己資本比率	純資産／総資本

※当座資産＝現預金＋売上債権＋売買目的有価証券＋短期貸付金÷流動資産－棚卸資産

ROA（総資産経常利益率）	$210,000 \div 2,000,000 = 10.5\%$
ROE（自己資本当期純利益率）	32.8%
総資産負債比率	70%
純資産負債比率	233.3%
流動比率	166.7%
当座比率	120%
自己資本比率	30%